

オープンフェイスも、極めればこうなる。

URBANE

都会的な洗練された
スタイルを今、URBANEに

外国では、ジェット型ヘルメットをオープンフェイスと呼びます。かぶった時の解放感をよく表現した言葉だと思います。だからフルフェイスが主流となった今日でも、根強いファンがいるのでしょう。もう一つ、メガネをかけたままでもかぶれるのもオープンフェイスの特長。しかしそんなオープンフェイスも、これまでのものだと何かフルフェイスより格落ちみたいな感じで、今ひとつ幅をきかせられないような点がありました。それだけにフルフェイスにひけをとらない風格のある、かつ洗練されたスタイルのオープンフェイスを作ってみようとは考えました。そして完成されたのが「アーバン」。その名の通り、いかにも都会的に洗練されたフォルムがでさあがりました。

デザイン上のポイントは
バイザーフレーム

バイザーフレームはポリカーボネート製ですが、帽体と一体感のあるフォルムにまとめてみました。ただポリカーボネートだと輸入ヘルメットによくあるように金型の線が一本、中心部に入ってしまう。これが入ると、どうしても安っぽい感じがします。そこで手間ひまのかかることですが、後加工で磨いてなめらかな面に仕上げました。また一度キズがつくと汚なくなってしまうのも、ポリカーボネートの欠点。せっかくのバイザーがうす汚れてたそがれてきたんじゃ「アーバン」も魅力半減です。そこで思いきって、高価なハードコート処理をほどこしました。その分、価格が高くなりましたが、深い光沢を長く保てるので結局は喜んでいただけることでしょう。

アゴ紐を止めるリベットの頭を、その厚み分だけ帽体にしずめました。万一の際、これがひっつかからないようにとの配慮からです。



かぶるにしても
取り外しできるVENTIL

すぐれたベンチレーション効果で、おでこのほうから入った風がうしろに抜けるため、ムレを防止します。また布地も特殊な吸水性布地を使用しました。吸いとった汗を布地の裏側にもっていく特性があるので、いつでもサラッとした感触が楽しめます。かぶり心地にも充分気をつかいました。オープンフェイスはフルフェイスにくらべ、どうしても安定感に欠けるさらいがあります。でも「アーバン」では、フルフェイスにも負けないような深いかぶり心地を実現させました。それでいてメガネをはずさなくてもかぶれます。こうしたよさも、きっと納得していただけのことでしょう。

走行時の安全性と
女性のための細かな配慮

シールドはポリカーボネート1.5mm厚の成型品。もちろんキズがつかないようSSR加工したものです。バイザーフレームに3本のネジで取付けられているので、シールドのみで交換できます。そしてラチェット機構を介して、カチッカチッと上げ下げできます。またこのように大きなシールドは、高速度横

手を抜かなくなったことから
安全も正直に

このように特長がたくさんある「アーバン」ですが、悩みもあります。バイザーフレームまでもハードコート処理したほど、手を抜かずにつくったのでコストが高くなったことです。もっと手を抜いて安くすることも考えましたが、文字通りアーバンな風格を保ちながら長く使っていただけることを考えれば、結局はここまでベストをつくしたほうが喜んでもらえるものと信じています。



OPEN FACE

を向いた時などおられてハネ上がると危険なため、安全装置としてスロットル操作のじゃまにならない左側だけに、軽く止められる高さ2.5mmのスナップを設けました。通常の走行で止める必要はありませんが、この安全装置としてのスナップもらしい気配りです。もちろんバイザーフレームと帽体の間はシールされて、雨水が落ち込まないようにしています。ヘルメットの本体は仕様のFRPですが、これにも小さな気配りがされています。

「アーバン」で心配なのはもう一つ、盗難に無防備なことです。取りはずし可能なバイザーだけでも高価なものです。だからヘルメットロックにつけたまま、放置するようなことはしないでください。放置しないで、といっても、むしろ手に持って歩いても一つの顔になるような洗練の極をゆく「アーバン」です。カフェレーサーからヴィンテージバイクまで、どんな車にもマッチして都会感覚をかもし出す「アーバン」。きっとご満足いただけるはずですよ。